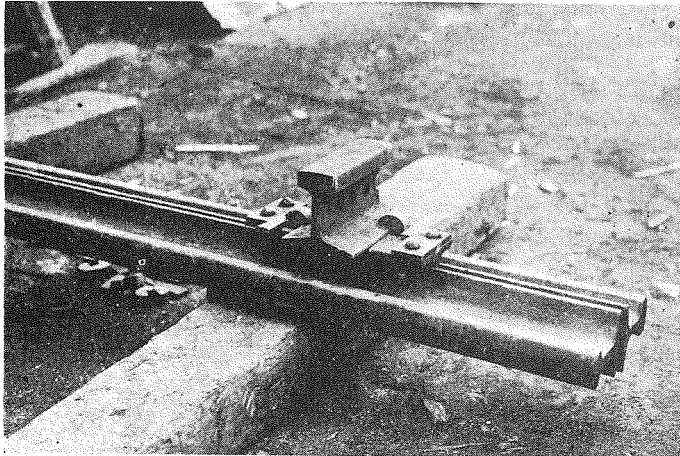


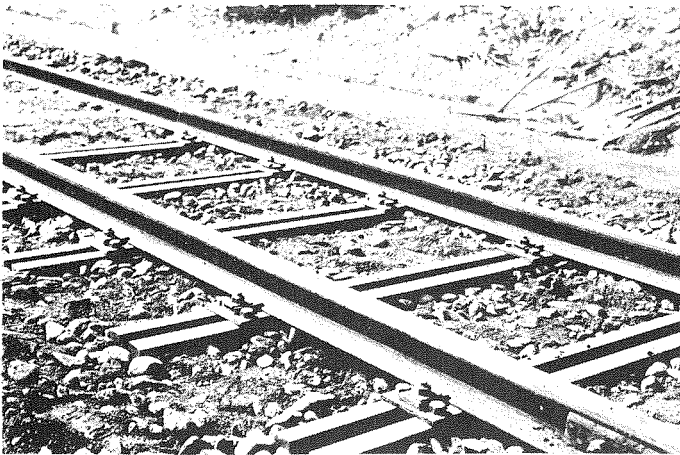
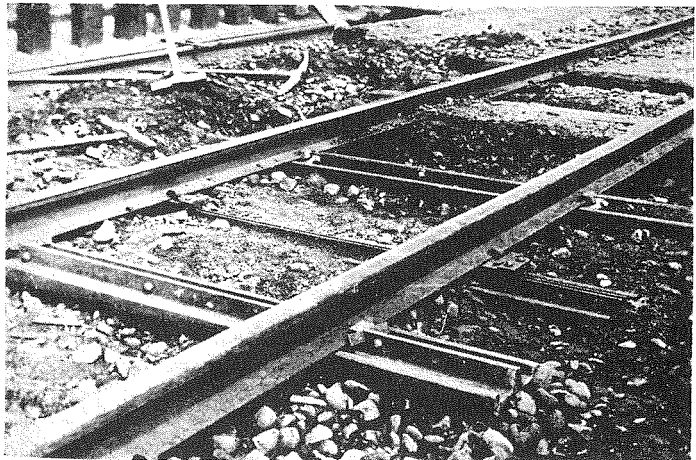
## 鐵道保線に關する研究作業……(1)

### 古軌條を枕木に利用せる狀況(鐵道省保線課)



No. 1. 鐵道省工務局にて設計したる古軌條製枕木を現在中央本線の國分寺驛より分岐せる鐵道省專用砂利線(下河原支線)に於て試験使用中のものであつて1挺の重量は約110疋である。

No. 2. 同上古軌條製枕木敷設の線路實況



No. 3. No. 1 と同じく鐵道省工務局設計の古軌條製枕木であるが前者は軌條の底を合せたのに對し後者は軌條を併べた形にしたもので東京驛構内に試験使用中のものである、重量は前者と略同じである。

## 鐵道保線に関する研究作業……(2)

道床砂利搗固めに電気タイタンパー使用(鐵道省保線課)

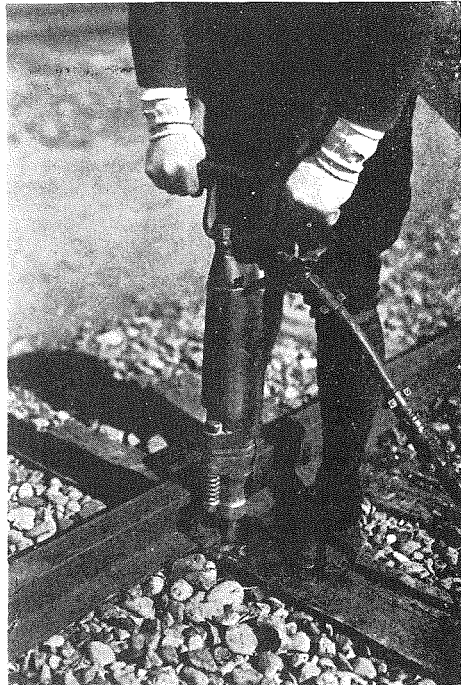


No. 4. 房總線 楡葉工場(楡葉驛の前後)に於て機械を使用する保線作業の一部にして「電気タイタンパー」を使用して道床砂利を搗固めつゝある狀況、寫眞中右方に据付けられてゐるのは米國 Jackson 會社製「ガソリン」使用の發電機である。



No. 5

同上「電気タイタンパー」の詳細を示す。



No. 6

4と同じく楡葉工場にて壓縮空氣を使用して普通の犬釘を打締めて居る實況。